

第34号

ほそごう地域コミュニティ推進協議会
〈細河地区〉
NPO法人 細河みどりの郷
〒563-0013 大阪府池田市市中原町216-2
TEL/FAX 072-754-5711
E-mail:hcms@iris.eonet.ne.jp
URL http://hosokawa-midorinosato.com

細河地域 コミュニティ ニュース

2023年度活動紹介

福祉部会 決算額 **2,700,000円**

配食を必要とする高齢者等に弁当宅配のサービスを行っています。宅配に際し、声かけを行い、高齢者の見守りを行っています。

配達日：毎週水曜日

料金：1食400円

お問い合わせ、申し込みは細河みどりの郷まで

6月のお弁当献立

黒食は6月5日(水)に釣銭のいらぬようにご協力下さい
6月1日は衣替えといいますが、5月に夏服を出した人も多いのでは
着くなるお弁当などで食中毒が起りやすくなりますので、
腐敗で食べ残れなかなんはアール・ポックスなどに防腐剤、
米などを入れています。

5日(水) 魚の変わり焼き・肉じゃが・ナムル風
12日(水) 旬のごはん・かつフライ・煮物
19日(水) ビーン炒め・炒り豆腐・みそ田楽・酢物
26日(水) 鶏のから揚げ・切干大根煮・ゴマ酢和え

お断り：食材の都合でメニューを変更する場合があります。

配達員数 水曜4員

お断り・子供・高齢者・ご家族にも
お断り・ご家族にも

お申し込み・お問い合わせはみどりの郷配食サービスへ
毎週水曜日はお休みです。
ご近所・お友達のご紹介をお願いします
072-754-5711



● 献立表が利用者さんに渡されます。

● 行事や季節に合わせたお弁当が、小さな
お手紙といっしょに届きます。



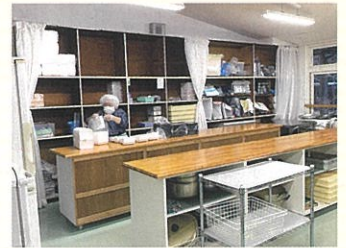
● 早朝より下ごしらえ



● 材料を切る人



● お米を洗う人



● お弁当の容器を並べる人



● 調理風景です。材料をまぜあわせたり、炒めたり、揚げたり大忙し
です。



● タルタルソースも手づくり



● 地域から野菜も届きます。



● できたおかずをカップに小分け
していきます。



● おかずを詰め合わせていきま
す。



● 豆ごはんを容器に入れます。



● 宅配の準備です。宅配先に分け
ていきます。



● この日のお弁当のメインはチキン南蛮。
ごはんは季節のごはんで豆ごはんです。



● お弁当が届くのを楽しみにしていらっ
しゃいます。届けてくれた人とおしゃべ
りできるのもうれしいです。

調理・配送の
お手伝いを
して下さる方
募集中です。

ふれあい部会

決算額
1,299,000円

細河の自然環境を生かしたとりくみや、学校と連携したとりくみを行っています。

ハイキング道の整備



●コミュニティ道路（伏尾台～久安寺）の維持管理を行っています。



●五月山散策道（中川原ルート・木部ルート）の整備も行っています。

●地域の施設に届けられます。



●花いっぱい運動の出荷式です。

学校と連携して



●大根の収穫です。



●大きな大根にニッコリ!!



●3年生が間伐体験をしました。



●間伐材を切っけずにします。



●このコップは3年生がかきました。

つながりを大切に



●細河まつりにはたくさんの方が参加しました。今年の細河まつりは7月27日(土)に開催予定です。



●いちごの収穫体験には多くの子どもや大人が集まりました。



●緑のセンターの職員の方の案内で東山をフィールドワークしました。

細河の豊かな自然を多くの人に体験してもらいたいです。



広報部会

決算額
480,000円

地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広くPRするため、広報誌やホームページを作成しています。掲示板では、地域のとりくみ、イベントについても紹介しています。

掲示板で



●木部ジャパン前



●旧細河小学校前

ホームページで



広報誌で



●伏尾バス停前



地域のできごと、とりくみ、イベントなども広く紹介したいと思います。みなさんの原稿、ポスター、ちらしお待ちしています。

住宅環境部会

決算額
979,000円

里山としての環境を整備するための活動をしています。

しいたけ栽培

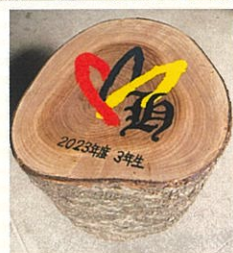


● 間伐材にドリルで穴をあけ、しいたけの菌を打ち込んでいきます。菌を打ち込まれた木は、はじめ横に積まれ、後で立てかけます。次の年にはしいたけができます。

薪の生産



制作



● 池にはびこる藻や草を除去します。



● くぬぎやひのきで作った薪は、火持ちがよくて、まきストーブなどに利用されます。



● Bio-pondのまわりの除草作業もします。

鴨



メダカ



モリアオガエル



力作業が多い部会です。会員になって、ぜひ力をお貸し下さい。里山を満喫できますよ。

総務部

決算額
2,306,000円

案内事業



アドプトリバー・余野川堤防桜管理



細河を巡るバスツアーに



朝市運営



学校園給食大根提供



● 野菜の収穫体験をしてもらいました。



● 参加者に芋ぜんざいを提供しました。

第十七回 通常総会の開催

五月十一日（土）細河コミュニティセンターに於て、第十七回ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）の総会が開催され、左記の議案が審議のうえ可決されました。

- 一、令和五年度各部署事業報告
- 一、令和五年度会計報告
- 一、令和五年度会計監査報告
- 一、令和六年度事業計画及び予算

規約変更

第七条 副会長一名↓副会長五名以下



総務部会
2,300,000円

- ・細河地域活性推進事業
- ・みどりの郷案内所事業
- ・事務費

広報部会
506,000円

- ・コミュニティ誌等発行事業
- ・細河ホームページ管理事業

福祉部会
1,900,000円

- ・細河高齢者等配食サービス (●●●●●食)

2024年度
事業計画・予算
6,974,000円

住宅環境部会
969,000円

- ・細河の自然を守る事業② 里山管理
- ・細河の自然を守る事業① ビオトープ整備 (市実施事業)
- ・街路灯強化 (市実施事業)

ふれあい部会
1,299,000円

- ・コミュニティ道路維持管理 (市実施事業)
- ・ほそごう学園花いっぱい運動事業
- ・細河地域こども育成事業
- ・地域・学校連携事業
- ・細河まつり運営 (市実施事業)
- ・五月山散策道整備事業
- ・細河ふれあい農園事業

※予算総額はNPO負担金も含まれています。

地域のできごと

歴史と伝統のまち細河

しめ縄づくり

12月23日（土）、細川神社でしめ縄作りが行われました。紀部神宮とともに、地域の人によってつくられたしめ縄がお正月に飾られました。



●細川神社



●紀部神宮



●わらを重ねます。



●わらをよります。



●宮司さん自ら作業に参加



●わら打ちを機械でします。



●なわにしています。

毘沙門天慶祝1300年
新春大祭

1月14日（日）、慈恩寺毘沙門天において慶讃1300年祈念法要と、慶祝の催し物がありました。



●ベトナム国獅子舞奉納



●太鼓奉納



●ふるまい酒



●福世

●福引き

初セリ

1月18日（木）、細河園芸センターにおいて初セリが行われました。



●セリのようにです。



●市長もあいさつに来て下さいました。



●雨の中たくさんの人が来て下さいました。

大阪で一番！「世界に誇れる安全で安心なまち池田」をめざして！！

防犯・防災

細河地域 犯罪・災害発生状況 2024年 1/1～4/30（2023年1/1～12/31）

| | | | |
|-----------------|------------------|-------------------|--|
| | 犯罪 | ●非侵入窃盗（その他） 2件（4） | |
| | ●空き巣・侵入 0件（0） | 災害 | |
| | ●バイク・自転車盗難 0件（5） | ●交通事故 15件（33） | |
| | ●自動車盗難 0件（1） | ●火災 1件（2） | |
| | ●車上ねらい 0件（1） | ●台風（大型） 0件（0） | |
| | ●自動車部品ねらい 0件（1） | ●地震 0件（0） | |
| ●自動販売機ねらい 0件（1） | ●水害 0件（0） | | |
| ●万引き 0件（1） | | | |

ええトコ みんなの農園ゴリランド

みんなの農園ゴリランドは、有志の会員それぞれが協力しながら運営している農園コミュニティです。

約20年間耕作放棄されていた棚田の再生から始まり、アイガモ農法での米づくりは細河地域の皆さんの支えもあって今年4年目の春を迎えました。

ゴリランドには、ヤギやニワトリ、烏骨鶏も暮らしています。

大人も子どもも、ここに来るだけでホッとすると、元気になる、ワクワクする場づくりをテーマに、田植えや稲刈りなどのイベントを実施したり、細河祭りなど地域のお祭りに参加させていただいております。

是非一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



所在地 池田市東山町
 施設責任者 西田 宏之
 電話番号 090-7108-9906



細河歴史・文化遺産

細河地域の人名

農民と年貢

江戸時代も生産活動の中心は、農業であり、全人口の八十五%が農民でした。

農民は百姓身分とされ、

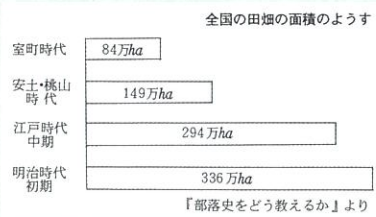
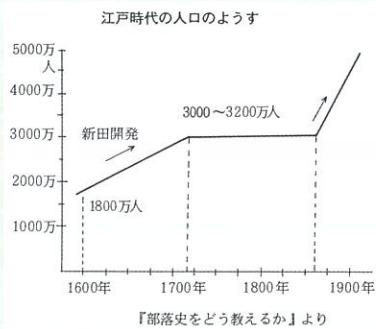
「本百姓」(自分の田畑をもち、年貢を納めた)と「水のみ百姓」(本百姓の田畑を借り小作料を納めた)とがありました。本百姓の有力者の中から庄屋・組頭・百姓代という村役人を決めました。庄屋は、村の年貢を集めたり、村の中や他の村との問題などには、いつも村の代表となりました。

幕府や藩は、「村の百姓どもが、死なないように、また、生きないように、考えて、年貢をとっていたるよ」と、できるかぎりたくさんの年貢をとりました。そのため、田畑のよつすを調べ、年貢を納める農民を確かめる検地を行いました。

一人ひとりの農民から年貢を集めるのではなく、村ごとにとまとめ年貢米などの税を納



1679年 延宝検地 検地帳



人口が増えなかった江戸時代

江戸時代の生活をさせた主な産業は農業でした。農業の生産は、田畑の広さと良さ、そして、肥料・用水・農具などの技術によって決まります。江戸時代前半には、新田開発など農民の努力によって、農業生産が増やされ、たとえ武士に年貢をとられても人口は増えました。江戸時代後半になると、ほとんど田畑は増えずに、年貢のとりたてが厳しくなるばかりでした。栄養不足で赤ん坊が育たなかったり、飢饉などが起これば一家全滅・村ぐるみ飢え死にしてみました。ということも起こりました。

江戸時代には、北摂山麓地域(細河から宝塚山本地域)で、植木の栽培が行われていました。植木は畑作とされ、税がたいへん低いこともあり、植木業が次第に盛んになりました。広い田畑を持っていた有力農民は、植木の栽培から販売まで手がけ、やがて、株組織を持つようになり、株を持っていないと、大阪への売り込みができませんでした。それで、大口の植木売買はこの人たちに集中しました。株を持たない人たちは、農閑期に植木の行商等を行いました。持高のない人たちが少ない人たちは、植木をすればもうかるとわかっていても、植木の栽培や販売とは関係のない生活でした。

江戸時代の植木業

江戸時代には、北摂山麓地域(細河から宝塚山本地域)で、植木の栽培が行われていました。植木は畑作とされ、税がたいへん低いこともあり、植木業が次第に盛んになりました。広い田畑を持っていた有力農民は、植木の栽培から販売まで手がけ、やがて、株組織を持つようになり、株を持っていないと、大阪への売り込みができませんでした。それで、大口の植木売買はこの人たちに集中しました。株を持たない人たちは、農閑期に植木の行商等を行いました。持高のない人たちが少ない人たちは、植木をすればもうかるとわかっていても、植木の栽培や販売とは関係のない生活でした。

植木の栽培・仲買人数

| 村名 | 1773年栽培人数 | 1781年仲買人数 |
|-----|-----------|-----------|
| 木部 | 8人 | 47人 |
| 中川原 | 5 | 32 |
| 東山 | 6 | 62 |
| 吉田 | 4 | 19 |
| 伏尾 | 2 | 17 |
| 古江 | 5 | 12 |
| 合計 | 30人 | 189人 |

小作をしながら、日雇いや農業の手伝いなどで、なんとか生活を支えてきた小作人の中には、小作料が払えず、持っているわずかの田畑まで売り払い、「身体限り」(自分の体のほかに、財産が何も無いこと)となる人もいました。有力農家は、そのような田畑を買い取り、次第に田畑を増やしていきまし。農業から離れた人たちは、農業以外の稼いで生活しなければならなくなり、「他国へ商いに出る」ことをいいわけにした離村が行われました。

(郷土学習教材「ほそかわ」より)